

2019年度 学生生活の満足度調査結果（コミュニティ生活学科）

1. 調査回答者

2年次 75名

2 調査結果

1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	0人 0%	1人 1%	13人 17%	58人 77%	3人 4%	75人
	授業	0人 0%	1人 1%	16人 21%	55人 73%	3人 4%	75人
	授業科目が豊富で充実していた	0人 0%	1人 1%	10人 13%	61人 81%	3人 4%	75人
	自分の将来の目標や適性にあわせて授業を自由に選べるのがよかった	0人 0%	0人 0%	11人 15%	61人 81%	3人 4%	75人
	学びたいと思っていたことを学ぶことができた	0人 0%	0人 0%	13人 17%	59人 79%	3人 4%	75人
	入学前に期待したとおり(または期待以上)の授業や指導を受けられた	0人 0%	1人 1%	19人 25%	52人 69%	3人 4%	75人
学生生活	教員のサポート体制	0人 0%	1人 1%	18人 24%	52人 69%	4人 5%	75人
	職員のサポート	0人 0%	1人 1%	18人 24%	53人 71%	3人 4%	75人
	自分でチューター(セミナー)を選べるのがよかった	0人 0%	0人 0%	10人 13%	62人 83%	3人 4%	75人
	チューターがしっかりサポートしてくれた	0人 0%	0人 0%	13人 17%	59人 79%	3人 4%	75人
	自分にとって大切な友達を作ることができた	0人 0%	0人 0%	11人 15%	61人 81%	3人 4%	75人
	自分の個性を大切にしてくれる学科だ	0人 0%	0人 0%	11人 15%	61人 81%	3人 4%	75人
	コミュニティ生活学科に入学してよかった	0人 0%	1人 1%	13人 17%	58人 77%	3人 4%	75人
入学してきた時よりも成長した	0人 0%	0人 0%	15人 20%	56人 75%	4人 5%	75人	
キャリアアップ	就職支援体制	0人 0%	0人 0%	18人 24%	54人 72%	3人 4%	75人
	資格取得支援体制	0人 0%	1人 1%	19人 25%	54人 72%	1人 1%	75人
自治会活動 学科行事	大学祭	0人 0%	7人 9%	20人 27%	46人 61%	2人 3%	75人
	スポーツ大会	0人 0%	5人 7%	19人 25%	50人 67%	1人 1%	75人
施設	図書館	1人 1%	3人 4%	21人 28%	49人 65%	1人 1%	75人
	食堂	1人 1%	5人 7%	18人 24%	50人 67%	1人 1%	75人
	保健室	0人 0%	2人 3%	21人 28%	51人 68%	1人 1%	75人
	施設や設備全般	1人 1%	1人 1%	19人 25%	52人 69%	2人 3%	75人
総合	総合的に学生生活に満足していますか?	0人 0%	1人 1%	13人 17%	59人 79%	2人 3%	75人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

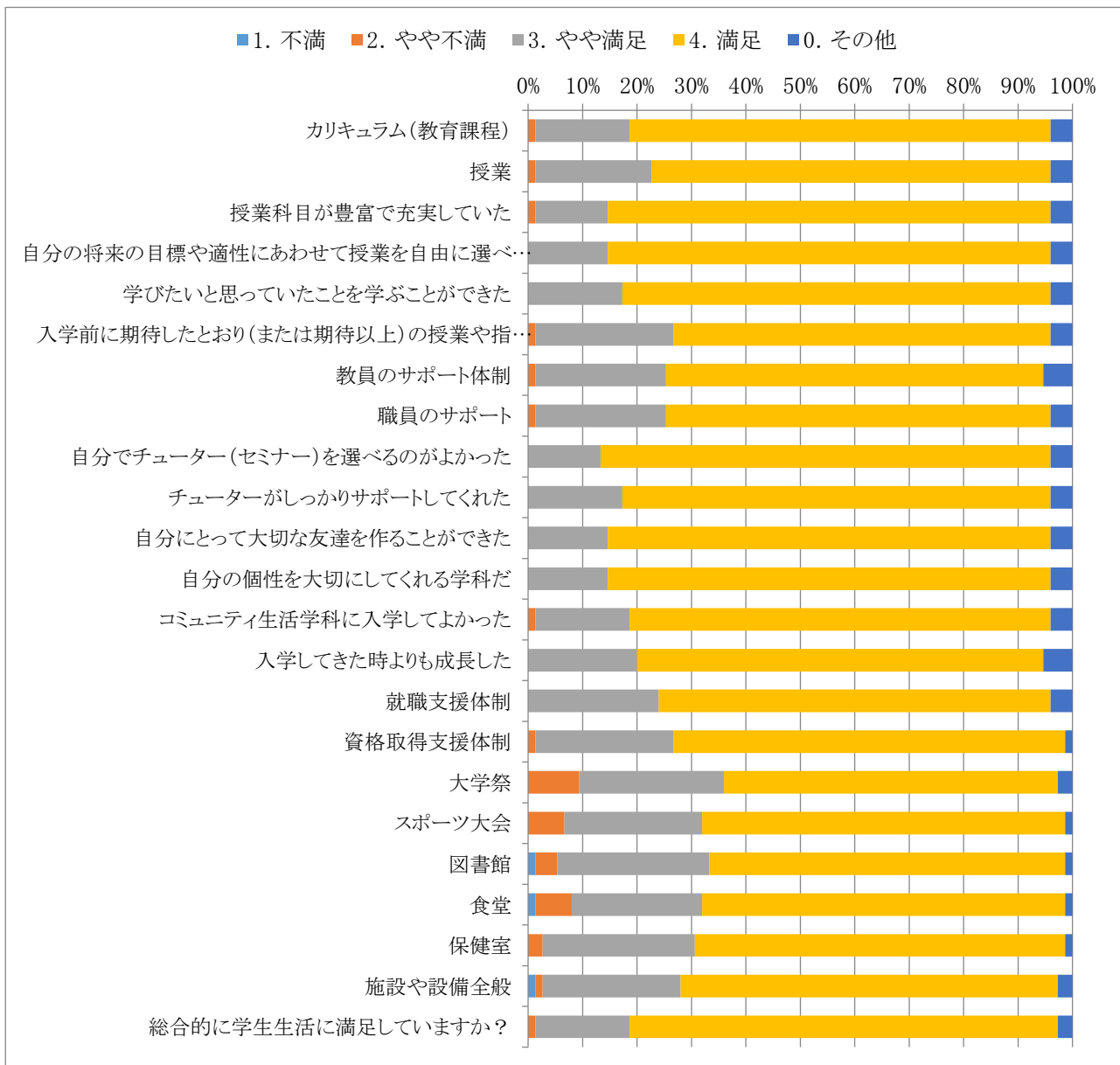
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった	2. あまり身に付かなかった	3. まあまあ身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計
専門的な知識や技術を身につけることができた	0人 0%	0人 0%	13人 17%	59人 79%	3人 4%	75人
これからの生活や仕事で役立つことを多く学べた	0人 0%	0人 0%	10人 13%	62人 83%	3人 4%	75人
人と積極的にかかわれるようになった	0人 0%	0人 0%	11人 15%	61人 81%	3人 4%	75人
社会や地域など、だれかのために役立ちたいと考えるようになった	0人 0%	0人 0%	9人 12%	63人 84%	3人 4%	75人
短大生活を通して生活態度や言葉遣いに成長がった	0人 0%	0人 0%	12人 16%	60人 80%	3人 4%	75人
短大生活を通して精神的に成長した	0人 0%	0人 0%	11人 15%	61人 81%	3人 4%	75人
短大生活を通して自立できる自信がいった	0人 0%	0人 0%	8人 11%	64人 85%	3人 4%	75人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

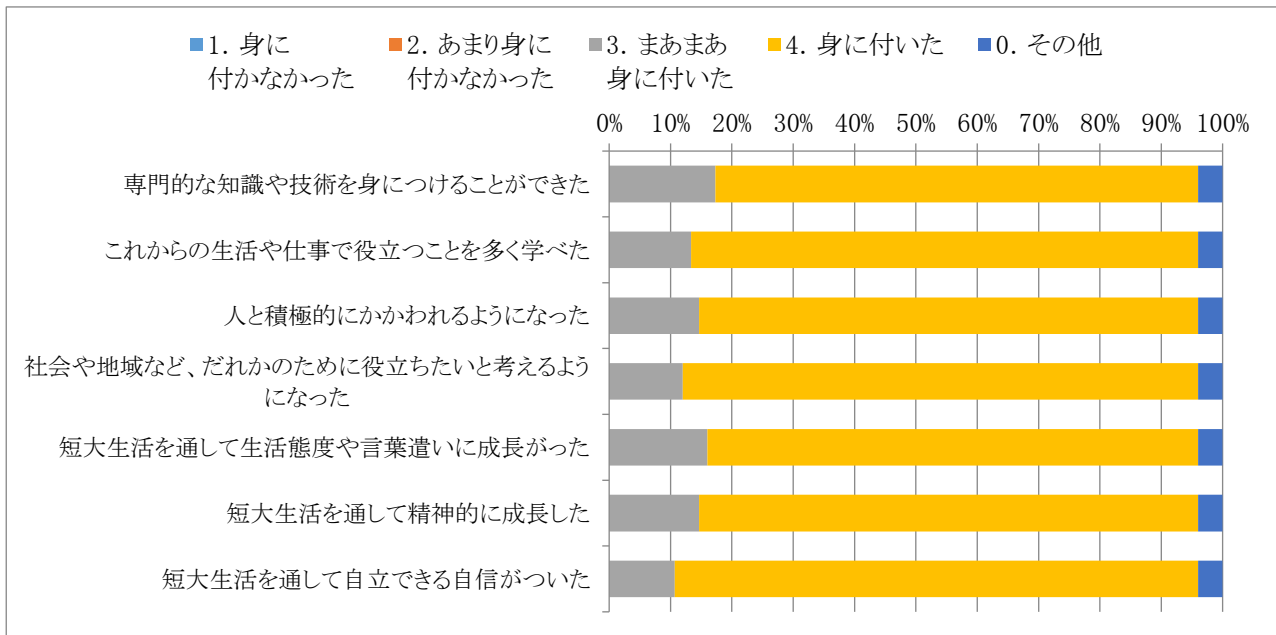
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

4 自由記述

- ・2年間、本当にありがとうございました。
- ・楽しかったです。ありがとうございました。
- ・2年間たのしかった～！
- ・あっというまの2年間でした。とても楽しかったです。
- ・とても楽しい学生生活を送ることが出来ました。素敵な先生、友達に出会えました。ありがとうございました。
- ・古川先生ありがとう。
- ・2年間ありがとうございました。
- ・2年間、楽しく授業を受ける事ができて良かったです。
- ・進路を決める時、先生の協力がすごくありがたかったです。
- ・学びたいことをたくさん学べたので良かったです。
- ・2年間ありがとうございました。
- ・最高の2年間ありがとう。フードコーディネーターとれてよかった！！
- ・授業をとおして資格を取ることができて良かったです。

5 まとめ

1) 満足度調査

- ・全体を通じてすべての項目で、「4. 満足」が一番多く選ばれた。
- ・教務の項目は、すべて「4. 満足」が多く、69%～81%であった。
「自分の将来の木曜や適性にあわせて授業を自由に選べるのが良かった」と「授業科目が豊富で充実していた」の2つの項目がともに81%であった。
- ・学生生活の項目は、すべての項目で、「4. 満足」が多く、69%～83%であった。
「自分でチューター（セミナー）を選べるのがよかった」が一番高く83%であった。
- ・キャリアアップの項目の評価は、2項目とも「4. 満足」が多く、ともに72%であった。
- ・自治会活動の項目の評価は、すべての項目で、「4. 満足」が多く、61%と67%であった。

「大学祭」の「4. 満足」は全体を通して一番低く61%であった。

- ・施設の項目の評価は、すべての項目で、「4. 満足」が多く、65%～69%であった。
- ・総合的な満足度は、「4. 満足」が79%であった。

教務の項目については、学科教育の柱である「フィールド&ユニット制」への満足度の高さと考えられる。学科の一人一人のニーズに合った教育の成果が数値にも表れていると思われる。

学生生活の項目についても、学科教育の柱である「セミナー&チューター制」への満足度の高さと考えられる。

総合的な満足度は、教務や学生生活の平均(76.7%と77.0%)に比べても高くなった。これは、教務や学生生活などの領域の平均ではなく、領域の中にある魅力ある項目を確認することにより高くなっていると考えられる。

自治会活動・施設の項目について、「2. やや不満」の割合が他の領域に比べ高く出ている。

施設については、「図書館」や「保健室」の満足度は、その施設を利用した学生とそうでない学生の差と思われる。

1年次生と卒業年次生を比較すると、卒業年次生は、満足度の評価が高くなり、「4. 満足」の割合が高くなっている。2年間のスパンで評価が高くなっていると思われる。

2) 自己点検

- ・すべての項目で、「1. 身に付かなかった」「2. あまり身に付かなかった」の評価は選ばれなかった。
- ・すべての項目で、「4. 身に付いた」の評価が、79%以上であった。

「短期大学を通して自立できる自信がついた」が「4. 身に付いた」の評価85%と一番高く次いで「社会や地域など、誰かのために役立ちたいと考えるようになった」が84%であったことから、本学での学修の成果を、これからの生活や仕事に生かそうとする意識が高いところがうかがえた。

1年次生と卒業年次生を比較すると、卒業年次生は、自己点検の評価が高くなり、「4. 身に付いた」の割合が高くなっている。2年間のスパンで評価が高くなっていると思われる。

2019年度 学生生活の満足度調査結果（食物栄養学科）

1. 調査回答者

2年次 47名

2 調査結果

1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	0人 0%	1人 2%	15人 32%	31人 66%	0人 0%	47人
	授業	0人 0%	1人 2%	18人 38%	28人 60%	0人 0%	47人
	食物栄養学科で行われている行事やボランティア活動	0人 0%	0人 0%	14人 30%	33人 70%	0人 0%	47人
	食物栄養学科で行った卒業研究	0人 0%	0人 0%	17人 36%	30人 64%	0人 0%	47人
学生生活	教員のサポート体制	0人 0%	1人 2%	5人 11%	41人 87%	0人 0%	47人
	職員のサポート	0人 0%	2人 4%	9人 19%	36人 77%	0人 0%	47人
キャリアアップ	就職支援体制	0人 0%	4人 9%	11人 23%	32人 68%	0人 0%	47人
	資格取得支援体制	0人 0%	0人 0%	16人 34%	31人 66%	0人 0%	47人
自治会活動 学科行事	大学祭	0人 0%	9人 19%	19人 40%	19人 40%	0人 0%	47人
	スポーツ大会	0人 0%	5人 11%	22人 47%	20人 43%	0人 0%	47人
施設	図書館	0人 0%	0人 0%	12人 26%	35人 74%	0人 0%	47人
	食堂	0人 0%	3人 6%	23人 49%	21人 45%	0人 0%	47人
	保健室	0人 0%	0人 0%	15人 32%	32人 68%	0人 0%	47人
	施設や設備全般	0人 0%	2人 4%	21人 45%	24人 51%	0人 0%	47人
総合	総合的に 学生生活に満足していますか？	0人 0%	1人 2%	10人 21%	31人 66%	5人 11%	47人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

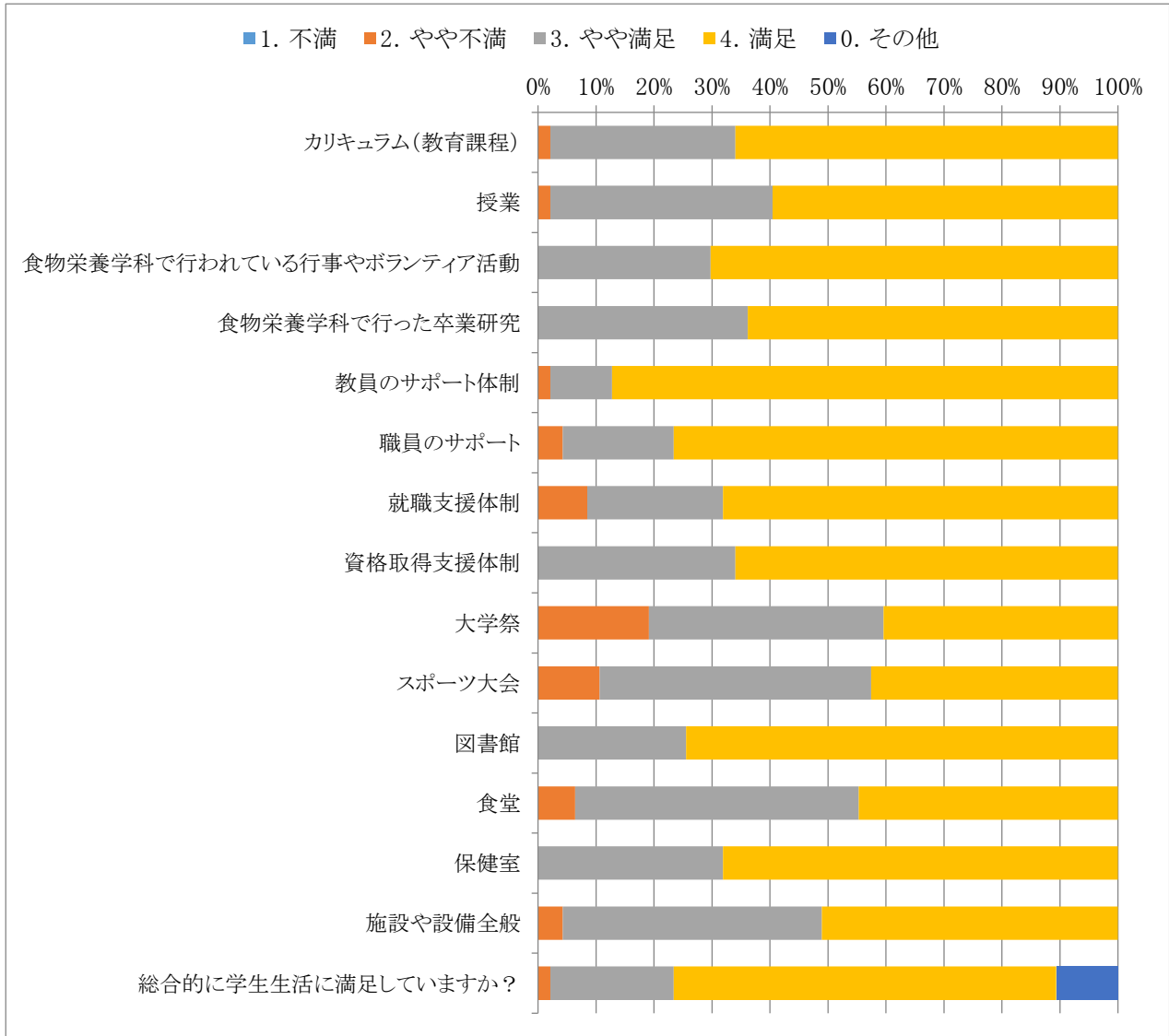
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった	2. あまり身に付かなかった	3. まあまあ身に付いた	4. 身に付いた	0. その他	計
栄養士として必要な専門的な知識や技術を身につけることができた	0人 0%	1人 2%	21人 45%	25人 53%	0人 0%	47人
食物栄養学科の2年間で調理技術が向上した	0人 0%	1人 2%	17人 36%	29人 62%	0人 0%	47人
対象者に合った献立作成や調理、栄養指導ができるようになった	0人 0%	3人 6%	28人 60%	16人 34%	0人 0%	47人
自らの食生活を振り返り、自己評価することができるようになった	0人 0%	1人 2%	21人 45%	25人 53%	0人 0%	47人
短大生活を通して社会的に自立できるようになった	0人 0%	2人 4%	23人 49%	19人 40%	3人 6%	47人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

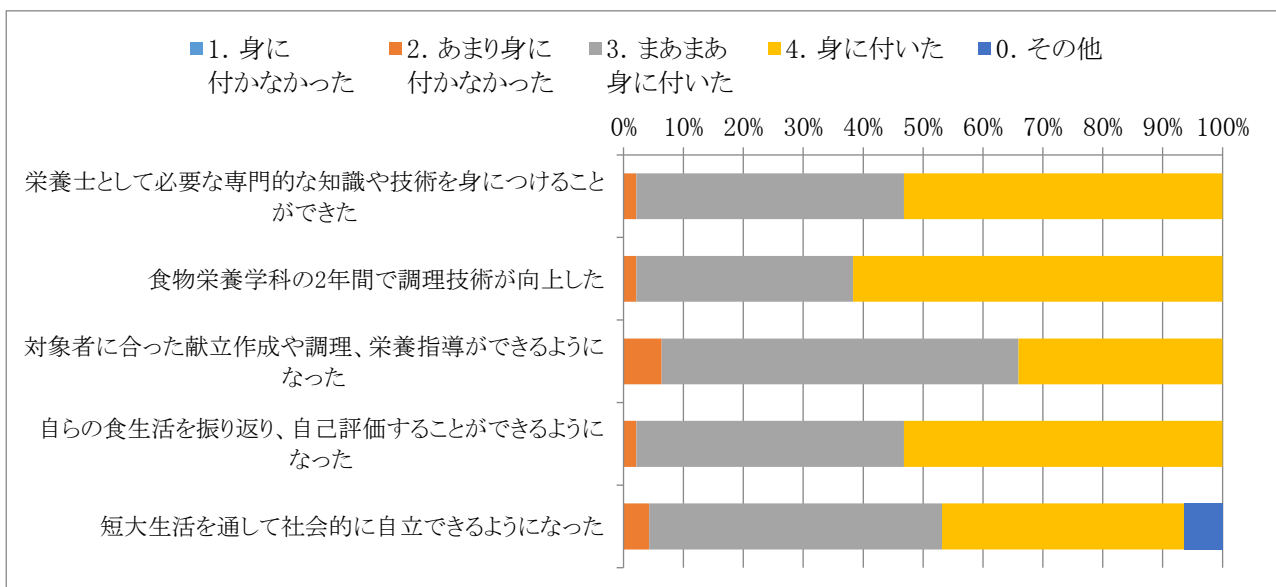
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

4 自由記述

- ・先生方が、たくさんサポートしてくださって、本当に心強かった。
- ・とても充実した2年間でした！！
- ・この学校でよかったと本当に思います。友達にも先生方にも恵まれ、成長できた2年間でした。
- ・2年間、食栄の先生方のおかげで、とても楽しい充実した日々をすごせました。ありがとうございました。
- ・先生方にとっても優しくしていただいて、楽しい学校生活が送れました。ありがとうございました。
- ・文化学園でよかった。

5 まとめ

1) 満足度調査

今回の調査は、6領域、15項目について行われた。

「教務」「学生生活」「キャリアアップ」の3領域は、96%以上の学生が「満足」または「やや満足」と回答しており、昨年度に続いて満足度は高かった。食物栄養学科では「きめ細かな学生指導」を行っており、その成果が結果に反映されたものと思われる。

「キャリアアップ」領域では、教員及び職員のサポートについて、「やや不満」の回答が1~2名あったものの、それ以外の学生は、「満足」又は「やや満足」と回答しており、キャリアセンターとの連携によるきめ細かな就職サポートの成果が進路決定に貢献したものと考えている。

「自治会活動」については、大学祭は80%、スポーツ大会では90%が「満足」「やや満足」と回答しており、行事も良い評価であった。その一方で、「やや不満」の回答が11~19%であり、他の項目より多い傾向が見られた。

「施設」領域に関しては、図書館と保健室は「やや満足」又は「満足」と全員(100%)が回答したが、「食堂」は94%、「施設や設備全般」96%であり、概ね満足していた。

総合的な満足度の平均点は、4点満点で3.7点(「その他」を除く)であり、学科が設定している「3.2点以上」という目標は超えていた。学生たちはほぼ満足して卒業したのではないかと思われる。しかしながら、「やや不満」と回答した学生が1名いたことから、学科でできる取組については、今回の結果を踏まえて改善していきたい。

2) 自己点検

自己点検の5項目に関しては、「身に付いた」と「まあまあ身に付いた」を合計して「身に付いた」とすると、栄養士としての知識や技術に関する項目では、94%以上が「身に付いた」と回答していた。また、「社会的自立」の項目では、89%であった。

1年次に実施した同調査では、「身についた」と回答したのは5項目のうち、調理技術の向上のみが94%であり、他は全て90%未満であったことから、この一年間で卒業生は成長したことを感じ取っていることがわかる。2年間の学修や校外実習等の実践の場を経験し、栄養士として必要な知識や技術がある程度「身についた」と判断できたものと思われる。

今後は、食物栄養学科として、学生の自己点検評価が今まで以上に高まるようサポートしていきたい。

2019年度 学生生活の満足度調査結果（保育学科）

1. 調査回答者

2年次 8.9名

2 調査結果

1) 満足度調査

領域	項目	1. 不満	2. やや不満	3. やや満足	4. 満足	0. その他	計
教務	カリキュラム(教育課程)	0人 0%	3人 3%	47人 53%	37人 42%	2人 2%	89人
	授業	0人 0%	4人 4%	57人 64%	26人 29%	2人 2%	89人
	授業科目が充実していた	1人 1%	3人 3%	35人 39%	48人 54%	2人 2%	89人
	ピアレッスンで自分の力を伸ばすことができた	1人 1%	6人 7%	18人 20%	62人 70%	2人 2%	89人
	教育実習・保育実習で保育力を伸ばすことができた	0人 0%	3人 3%	22人 25%	61人 69%	3人 3%	89人
	運動会や生活発表会で実践力を伸ばすことができた	1人 1%	5人 6%	36人 40%	44人 49%	3人 3%	89人
	入学前に期待した通りの授業や指導を受けられた	0人 0%	10人 11%	46人 52%	31人 35%	2人 2%	89人
学生生活	教員のサポート体制	0人 0%	4人 4%	38人 43%	45人 51%	2人 2%	89人
	職員のサポート	0人 0%	3人 3%	37人 42%	47人 53%	2人 2%	89人
	チューターがしっかりサポートしてくれた	0人 0%	4人 4%	26人 29%	57人 64%	2人 2%	89人
	自分にとって大切な友達を作ることができた	0人 0%	4人 4%	24人 27%	59人 66%	2人 2%	89人
	保育学科に入学してよかった	0人 0%	4人 4%	18人 20%	65人 73%	2人 2%	89人
キャリアアップ	就職支援体制	1人 1%	7人 8%	41人 46%	38人 43%	2人 2%	89人
	資格取得支援体制	0人 0%	6人 7%	40人 45%	41人 46%	2人 2%	89人
自治会活動 学科行事	大学祭	2人 2%	12人 13%	40人 45%	33人 37%	2人 2%	89人
	スポーツ大会	2人 2%	16人 18%	40人 45%	31人 35%	0人 0%	89人
施設	図書館	0人 0%	10人 11%	41人 46%	38人 43%	0人 0%	89人
	食堂	1人 1%	11人 12%	47人 53%	30人 34%	0人 0%	89人
	保健室	1人 1%	8人 9%	45人 51%	34人 38%	1人 1%	89人
	施設や設備全般	1人 1%	23人 26%	44人 49%	20人 22%	1人 1%	89人
総合	総合的に学生生活に満足していますか？	0人 0%	3人 3%	35人 39%	43人 48%	8人 9%	89人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

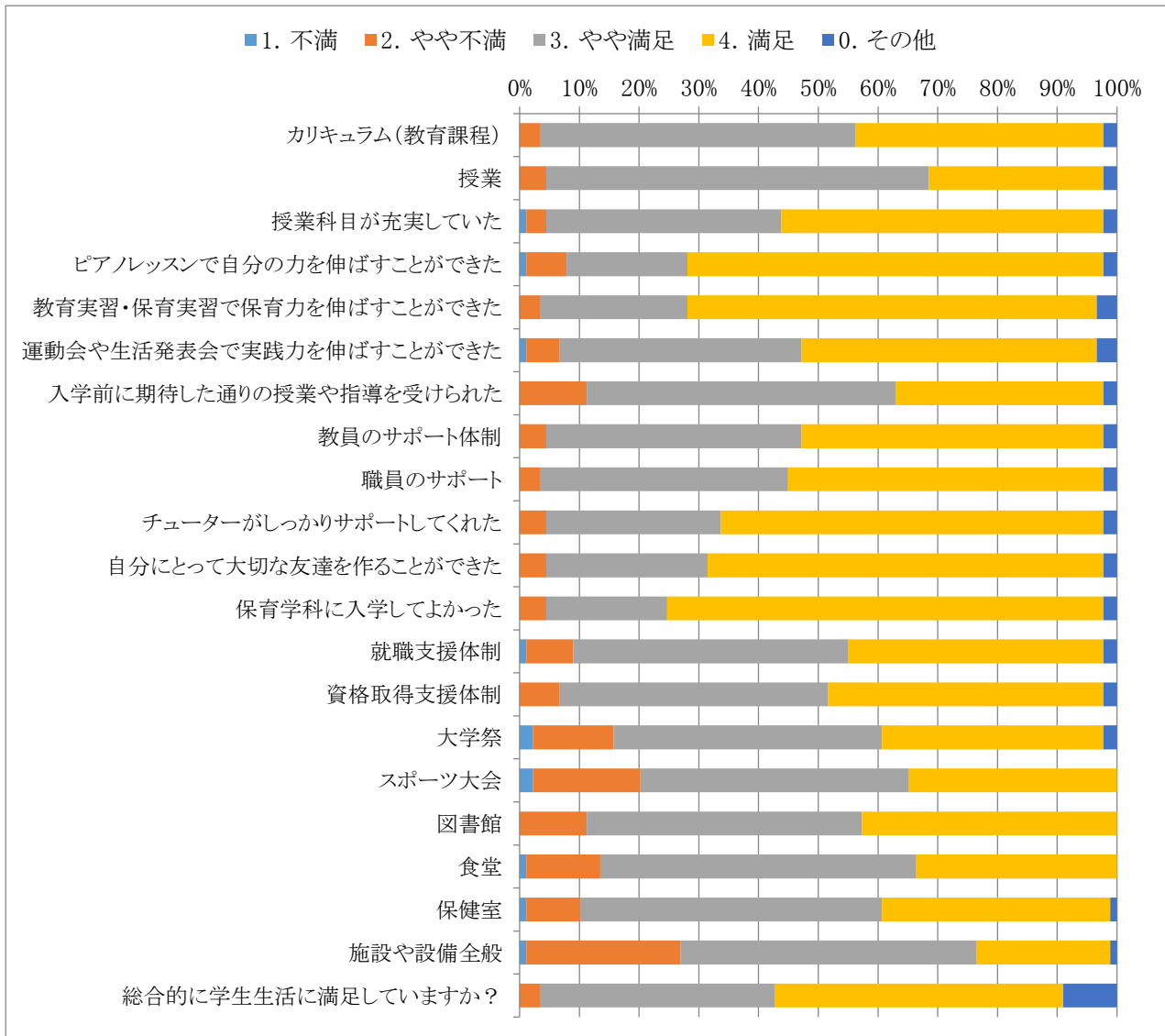
2) 自己点検

項目	1. 身に付かなかった		2. あまり身に付かなかった		3. まま身が付いた		4. 身に付いた		0. その他		計
短大生活を通して専門的な知識や技術を身につけることができた	0人	0%	1人	1%	38人	43%	43人	48%	7人	8%	89人
短大生活を通して生活態度や言葉遣いに成長があった	1人	1%	5人	6%	38人	43%	38人	43%	7人	8%	89人
短大生活を通して精神的に成長した	0人	0%	2人	2%	35人	39%	45人	51%	7人	8%	89人
短大生活を通して自立できる自信がついた	1人	1%	5人	6%	43人	48%	33人	37%	7人	8%	89人
自立した大人として責任を持った行動ができるようになった	0人	0%	5人	6%	39人	44%	38人	43%	7人	8%	89人
チームワークを大切にすることができるようになった	1人	1%	1人	1%	29人	33%	51人	57%	7人	8%	89人
周囲と良好なコミュニケーションをとることができるようになった	0人	0%	1人	1%	32人	36%	49人	55%	7人	8%	89人
社会や地域など、誰かのために役立ちたいと考えるようになった	0人	0%	1人	1%	32人	36%	49人	55%	7人	8%	89人

※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

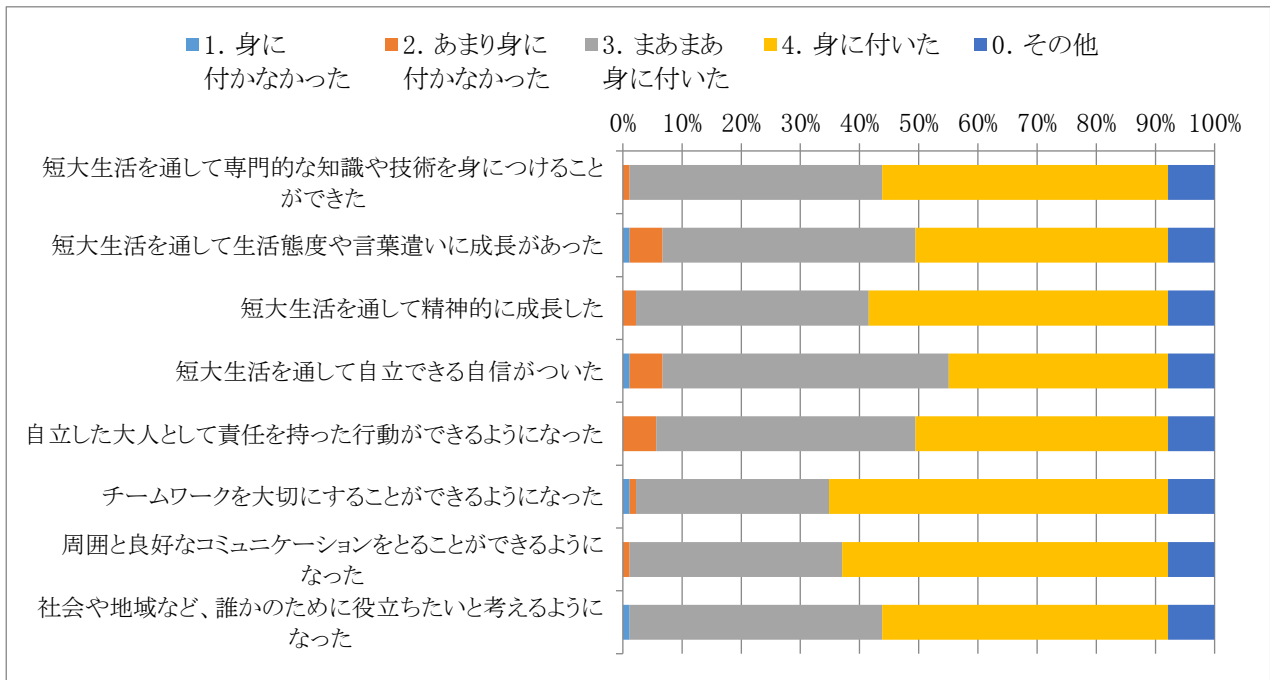
3 グラフ

1) 満足度調査



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

2) 自己点検



※「その他」は、無回答または複数回答のため判別がつかなかったものです。

4 自由記述

- ・学生生活を楽しみながら学ぶことができた。
- ・保育学科に入学して、大変さを知れたので後悔はないです。
- ・3歳も離れているのに、すごく親しく話しかけてくれました。この2年間はすごく濃かったです。この2年間だけではなく、社会人になっても頼りになる仲間に出会えました。ここに入学して良かったです。
- ・やさしい保育士になります。
- ・素晴らしいっ!!!先生方がすごい生徒を大切にしてくれる。
- ・卒業、資格取得のために、チューターの先生中心として最後までしっかりとサポートしていただいた。でも卒業をするのは悲しいです。
- ・2年間あっという間でしたが、忙しくとても充実していました。
- ・ピアノの練習がしにくい。
- ・同じ職業に向かっていたり、行事が多かったりする分、仲間と同じ時間を十分に過ごすことができてよかった。
- ・とても充実した2年間でした。先生達のおかげで卒業することができました。本当にありがとうございました。
- ・学祭委員になったらたのしい!!
- ・大体身についた。
- ・満足しています。先生にたくさんのことを相談したりできたので、よかったです。
- ・とても楽しかった。春から頑張ろうと思います。
- ・

5 まとめ

1) 満足度調査

すべての項目にわたり、“不満”の思いを表した学生はわずかで、“満足群”を表す「やや満足」と「満足」の占める割合が90%前後と高い結果となった。

まず「教務」の領域では、全項目にわたり高い満足度であった。特に「教育・保育実習」「ピアノレッスン」での満足度が高く、「運動会・生活発表会」の行事を含め、体験を通しての実践力の伸長に係る項目で高い満足度を示している。これは、多くの学生が抱える現場実践に対する不安を個々の力量に応じた解消できるようにするピアノ指導の取組や、実習における直接体験をはじめ、学科行事等における体験活動を通して実践力を伸ばしていきたいという、本学科において特に力を入れて取り組んできたことが成果を上げてきたものと思われる。

また、他の「カリキュラム」「授業」「授業科目」の項目においても、95%前後の高い割合となっている。1年生時と比較して全般に満足度が向上しているという結果であり、学科における様々な学習が、学生自らが伸びを自覚できる活動につながっていることがうかがえる。今後とも、担当教員はもとより学科教員全員が一丸となり、学生個々の実情に応じた細やかな支援に努め、全員が様々な活動を通して確かな成長を実感できるよう努めたい。

次に「学生生活」の領域では、いずれの項目においても90%を超える高い結果となっている。特に、「チューターや職員のサポート」については高く、夢の実現に向けての相談や、卒業研究を進める中での指導、就職活動に向けての学生個々の状況に応じた支援など、チューターを主とした学生と教員・職員との密接なかかわりの結果が満足度に現れたものではないかと推察される。一方で、数名ではあるが「やや不満」との反応もあり、今後は、求めや状況に応じた一層のサポートに努め、自立をした学生を育成していきたい。

「キャリアアップ」の領域では、いずれの項目も90%前後の満足度と1年生時より向上していることから、自らの進路を切実に考え始める2年生時のかかわりが重要であることがうかがえる。特に、チューターと連動したキャリアセンター職員の細やかなサポート姿勢は、学生にとって大きな支えとなっていることは間違いない。今後とも、現在の体制をしっかりと維持し向上させていきたいと考える。一方で、就職や資格取得に関して、1年生時からいかに意識化させていくかが課題だと感じている。

「自治会・学科行事」の領域は、学科行事の項目を設けていないため「自治会行事」のみの項目となる。「大学祭」・「スポーツ大会」共に、保育学科では全員参加の行事と位置付けているが、80%程度の満足度に留まっている。事前の手続きミスにより、積極的な参加ができなかったことに起因すると思われる。時間的に大変厳しい状況にある学生に対して、自治会行事といえどもサポートが必要であることが窺える。

「施設」の領域では、「図書館」「食堂」「保健室」のいずれの項目においても、多くの学生が90%近くの満足度を示していると。「施設や設備全般」への満足度は71%と、行事の準備を行ったり空き時間を有意義に過ごしたりするためのスペースは十分とは言えないまでも、現状の施設・設備の中では最善の対応の結果と思われる。“学生生活に満足”の割合が87%となっており、仲間と共に安心して過ごすことのできる居場所ではあったものと思われる。

2) 自己点検

自己の振り返りについては、いずれの項目も「専門性の獲得」や「自己の成長」に関する自己の成長を認めている。特に「精神的な成長」の項目は91%であり、例年自己肯定感が低い本学科の学生の傾向がうかがえる中、十分な地震とはいえないまでも、様々な活動における仲間とのかかわりや協力によって徐々に成長してきたものと思われる。本学での学びが社会に踏み出す勇気へとつながったのであれば、喜ばしい。今後とも、一人一人の学生の現状をしっかりと受け止めつつ、伸びていく姿をつぶさにとらえ、自信につながる評価活動を進めていきたいと考える。